E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2022/03/27**

2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号	試合会場	観客数
485	グリーンアリーナ神戸（神戸総合運動公園体育館）	893

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
12:00	14:17	02:17	渡部　菜保子	吉岡　奈々

久光スプリングス	通算	ヴィクトリーナ姫路	通算
1	20 勝 10 敗 ポイント： 63	3	7 勝 23 敗 ポイント： 23

	久光スプリングス	ヴィクトリーナ姫路
第1セット	30	32
第２セット	25	19
第３セット	17	25
第４セット	21	25
第５セット		

監督コメント（久光スプリングス）

ホームゲーム最終戦、なんとしても勝たなければならない一戦であったが、相手の思い切りのいいバレーを跳ね返すことができず、得点を積み重ねることができなかった。
悔しい一戦となったが来週に向けて戦う準備をしていきたい。
神戸でのホームゲーム開催にあたり、応援していただいたすべての方々に感謝申し上げます。

監督コメント（ヴィクトリーナ姫路）

１日でここまで変わるのかとびっくりさせられるぐらい、選手のマインド、メンタリティ、プレー、全てにおいて素晴らしかったと思う。特にプレイクフェーズで優位に試合を運ぶことができた。また、ホームゲームかと思うようなファン、サポーターの後押しも大きかった。
キャプテン貞包が気迫あふれるプレーでチームを引っ張り、全選手勝利に向かって貪欲にプレーし続けてくれたことを誇りに思います。
厳しい状況であることは変わりありませんが、今日のようにチーム一丸となって戦い抜きます。
明日は３連戦となるホームゲーム初日があります。応援よろしくお願いいたします。

要約レポート

久光スプリングスがホームにヴィクトリーナ姫路を迎えての一戦。
第１セット、姫路は貞包のアタック、長野の速攻やサービスエースでリードするが、久光は井上(愛)のアタックで対抗しデュースにもつれこむ。最後はプラクがサービスエースを決め、32 - 30で姫路がセットを先取した。
第２セット、久光はアキンラデウォの強烈なアタックが連続で決まり、リードを広げる。姫路は田中のアタックで対抗するが、久光は栄の相手に的を絞らせないトスワークで得点を重ね、セットを奪い返した。
第３セット、姫路は櫻井のトスワークが冴えリードを広げる。久光は大竹や石井のアタックで対抗するが、姫路は佐々木のブロックやアタックで得点を重ね、セットカウントを２ - １とした。
第４セット、姫路は花井を中心にコートを駆け回ってレシーブでつなぎ、プラクが強烈なアタックを連続で決めリードする。久光は中川のアタックで対抗するが、姫路の勢いは止まらずセットカウント３ - １で勝利した。

試合番号	試合会場	観客数
486	グリーンアリーナ神戸（神戸総合運動公園体育館）	405

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
15:10	17:03	01:53	明井　寿枝	岡田　崇

PFUブルーキャッツ	通算	KUROBEアクアフェアリーズ	通算
3	12 勝 19 敗 ポイント： 38	1	3 勝 27 敗 ポイント： 7

	PFUブルーキャッツ	KUROBEアクアフェアリーズ
第１セット	17	25
第２セット	25	17
第３セット	25	23
第４セット	26	24
第５セット		

監督コメント（PFUブルーキャッツ）

苦しい中、選手たちがよく頑張って勝利を手にしたと思う。
ただ、ゲーム運びや内容自体は変わっていないので欲を言えばさらなる成長を期待したい。
今日が今シーズン最後の有観客での試合だったが、たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。

監督コメント（KUROBEアクアフェアリーズ）

V･レギュラーラウンドも残り４試合となりました。
V・チャレンジマッチに向けチームをしっかり立て直したいと思います。
第３、第４セット終盤の競り合いをしっかりと勝ち切ることを課題とし、修正、準備をしたいと思います。
今後とも応援よろしくお願いします。

要約レポート

第１セット、KUROBEアクアフェアリーズがラッツのスパイクで流れを掴む。PFUブルーキャッツもセッター田原を中心とした速さのある攻撃で食い下がるが、相手の勢いを止めることができず、KUROBEがセットを先取した。
第２セット、競り合った展開からPFUがジャンのブロックでリードを広げる。KUROBEもコクラムの攻撃で追い上げを見せたが、PFUはバルデスのスパイクで粘り、セットを奪い返した。
第３セット、終盤までサイドアウトの応酬が続いた。PFUは山下のサービスエースで突き放しにかかるが、KUROBEも立石の粘り強いレシーブでその差を広げさせない。最後はPFUがシーソーゲームを制し、セットを連取した。
第４セット、序盤からPFUは高相、志摩のスパイクで得点を重ねる。KUROBEも金杉、ラッツの攻撃で応戦し、デュースまでもつれ込む白熱した展開となった。PFUはバルデスが最後まで力強いスパイクを打ち続け、セットカウント３ - １で勝利した。

試合番号	試合会場	観客数
487	山陽ふれあい公園総合体育館	720

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
13:00	14:28	01:28	北村　友香	國頭　亮太

岡山シーガルズ	通算	埼玉上尾メディックス	通算
0	12 勝 19 敗 ポイント： 36	3	17 勝 13 敗 ポイント： 52

	岡山シーガルズ	埼玉上尾メディックス
第１セット	12	25
第２セット	17	25
第３セット	26	28
第４セット		
第５セット		

監督コメント（岡山シーガルズ）

昨日の反省を生かしたベテラン選手の奮起に期待したが責任感に囚われすぎ、思い切った清々しいプレーが影をひそめてしまった。
しかし、若手選手がセットを経るごとに力を出してきたことが大きな収穫となった。特に第３セットの終始リードしながらの攻防は、来週に繋がる良い刺激となったように思う。今シーズンの最終戦、全員の思いを一つに頑張っていきたい。
応援に駆けつけて下さったたくさんのファンの皆様、また、試合の開催に尽力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

監督コメント（埼玉上尾メディックス）

今週は３試合あった中で２連敗しましたが、選手が気持ちを切り替えて戦えたことを誇りに思います。
特に岡山シーガルズのディフェンスは軟打を落とさないので、強打で点を取っていくことを今日のコンセプトとして、得点を重ねることができました。
来週も応援よろしくお願いします。

要約レポート

ホームゲームで勝利したい岡山シーガルズと、勝って１つでも順位を上げたい埼玉上尾メディックスの一戦。
第１セット、立ち上がりから埼玉上尾は佐藤の連続得点などでリードを奪う。岡山も金田や佐伯を中心に攻撃を展開し反撃するが、埼玉上尾は内瀬戸のアタックやロレンネの連続サービスエースなどでリードを広げ、セットを先取した。
第２セット、このセットも序盤から埼玉上尾がロレンネの連続得点などでリードを奪う。岡山も付、佐伯など若手を中心に反撃するが、埼玉上尾は佐藤、内瀬戸、青柳を中心に得点を重ね、セットを連取した。
第３セット、何とか意地を見せたい岡山は付、川島、吉岡などの得点でリードするが、埼玉上尾も内瀬戸やサンティアゴを中心に得点を重ね終盤まで一進一退の攻防が続く。お互い粘り強いレシーブから好ラリーが続くが、埼玉上尾が競り合いを制し、ストレートで勝利した。

試合番号	試合会場	観客数
488	山陽ふれあい公園総合体育館	720

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
15:15	16:33	01:18	増岡　三佳子	佐々木　伸子

NECレッドロケッツ	通算	日立Astemoリヴァーレ	通算
3	23 勝 8 敗 ポイント： 70	0	13 勝 19 敗 ポイント： 38

	NECレッドロケッツ	日立Astemoリヴァーレ
第１セット	25	21
第２セット	25	16
第３セット	25	15
第４セット		
第５セット		

監督コメント（NECレッドロケッツ）

本日も応援ありがとうございました。まずは試合をすることができて本当に嬉しく思います。どのような状況であれ、お客様の前でバレーボールができることに感謝し、全力でぶつかった結果が今日の内容につながったと思います。
特にブロックディフェンスのところが良く、相手のファーストサイドアウトを抑えることができました。
負けられない戦いが続いていくので、今日に満足せずより良いバレーボールができるよう準備していきたいと思います。
引き続き熱い応援をよろしくお願いします。

監督コメント（日立Astemoリヴァーレ）

相手に対しての戦略をしっかり練り、全員が共通認識を持ち、試合に挑みました。
リードされてもメンバーを変えたり、次の１点をどう取るか考え前を向いて戦いましたが、自チームのミスと力が及ばず敗れてしまいました。
残す試合は来週の１試合のみとなりました。１週間しっかり準備し、最後絶対に勝ちにいきます。引き続きご声援をよろしくお願いします。

要約レポート

ファイナル３進出に向け勝ち星をあげたいNECレッドロケッツと連勝を目指す日立Astemoリヴァーレの一戦。
第１セット、NECは古賀、ウィルハイトが、日立Astemoは長内、オクム大庭がスパイクを決め、点を取り合う展開となる。中盤、NECは山田のブロックでリードを奪い、その後も澤田のサーブで攻め徐々にリードを広げる。日立Astemoもタップのブロックや渡邊のサービスエースで応戦するが、NECがリードを守り、最後は野嶋がブロックを決め、セットを先取した。
第２セット、NECはセッター塚田からの多彩な攻撃でウィルハイト、野嶋が得点を重ねる。日立Astemoもオクム大庭やタップがスパイクを決める。NECは古賀がスパイク、ブロックを決め、さらに勢いに乗ると、最後は曽我のブロックでセットを連取した。
第３セット、NECは古賀やウィルハイトのスパイクでリードすると、山田、野嶋も緩急織り交ぜた攻撃を決めリードを広げる。日立Astemoは渡邊やオクム大庭が奮闘するが、NECの勢いは止まらず、最後はウィルハイトのスパイクが決まり、セットカウント３ - ０で勝利した。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。